

# 館山市の

# 台所事情

～ 平成24年度 決算版 ～

市の決算や財政状況について、分かりやすく説明します。



決算とは	-----	3	P
決算の種類や規模	-----	4	P
収入の種類と金額	-----	6	P
支出の種類と金額	-----	10	P
決算を家計に例えると	---	13	P
決算の他団体との比較	---	14	P
市の借金と貯金	-----	16	P
各種財政指標	-----	18	P
行財政改革の取組み	---	21	P
身近な行政サービスの費用	-	24	P
主な事業と決算額	---	27	P



## 『館山市の台所事情』発行にあたり

この『館山市の台所事情』は、平成 20 年度決算から、多くの市民の方々に「館山市の財政状況」や「税金の使われ方」について理解を深めてもらいたいという思いから作成しています。

今回は、“身近な行政サービスにどの程度の経費がかかっているのか”を知ってもらうため、新たに「行政サービスの費用負担」という特集記事を追加しました。例えば、“可燃ごみ 1 袋の処理経費は幾らぐらいとなり、その費用は誰が負担しているのか？”など、皆さまの日常生活に必要不可欠な事に、幾らぐらいの税金がかかっているのかを数値化してみました。

市の行政サービスを充実したいことは、たくさんあります。しかし、国・地方とも、長引く景気低迷による税収の伸び悩みや、高齢化の進展などに伴う社会保障関係経費の増大、生産年齢人口の減少による地域経済の活力低下など、非常に厳しい財政状況にあり、限られた財源のなかで、より効率的な行政サービスを提供することが求められています。

“効率的な行政サービスを提供するためにはどうすれば良いのか”を議論するためにも、市民の皆さまに、現状の税金の使われ方や財政状態を理解していただき、今まで以上に市政に関心をもってもらえるよう、この『館山市の台所事情』がその一助となればと思います。

「ここがわかりにくい」「この分野をもっと知りたい」など、たくさんのご意見やご質問をいただけると次回以降の改善に大きく役立ちますので、皆さまからのご意見をお待ちしております。

平成 25 年 9 月

館山市長 金丸 謙一



# 1 決算とは？ 決算にはどんな意味があるの？

基礎知識編

## ❓ 決算とは何ですか？

- ④ 館山市に1年間（4月から翌年の3月まで）に入ってきた収入と、その収入を何のために使ったのか（支出）の実績を、市議会・市民の皆さまに明らかにすることが決算です。

決算は6月から7月にかけて取りまとめを行い、例年9月の議会にて審議されます。



### ▼ 予算

決算の対義語は予算です。予算とは、1年間の収入を見積もり、どのような事業にどれくらい使う予定（行政サービスの内容）であるのかを示した計画のことであり、予算に基づく執行結果が決算となります。

## ❓ 決算にはどんな意味があるの？

- ④ 予算は、年間の行政サービスの予定であるのに対し、決算は行政サービスの実施結果ですので、市民の皆さまが実際の生活体験から得た行政サービスが金額として公表されたものです。

したがって、決算の内容に対する市民の皆さんの率直な意見が、行政サービスをより一層効率的・民主的なものに変え、住民福祉の向上につながると考えられます。



また、決算では、年間収支（収入総額－支出総額）により、どの程度の剰余金（民間企業での黒字額）が出たのか、市の借金や貯金額はどの程度なのか、他の市町村と比較し財政状態はどのようになっているのか、などが分かります。



次ページ以降で、市の財政状況について説明していきます。

難しい言葉も出てきますが、分かり易いよう、イラストやグラフを使い工夫してみましたので、最後までご覧になって下さい。



## 2 市の会計の種類と決算額について

### ④ ？ どんな会計があるの？

- ④ 市の会計は、どの収入がどんなことに使われるか、収入と支出の関係をはっきりさせるため、一般会計と特別会計に区分しています。



#### 用語解説

- ▼ 一般会計  
教育、福祉、道路整備など市の基本的な行政サービスを行う会計（予算の中心）です。
- ▼ 特別会計  
国民健康保険税や下水道使用料など、特定の収入で、特定の事業を行う場合に設ける会計です。

### ④ ？ 特別会計の中身を教えて？

- ④ 館山市では、以下4つの特別会計があります。



#### ▼ 国民健康保険会計

国民健康保険加入者の疾病、負傷、出産などの費用の一部を負担します。加入者の皆さまの国民健康保険税などを財源としています。

#### ▼ 後期高齢者医療会計

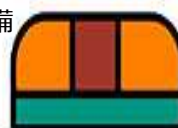
後期高齢者医療制度に基づき、保険料の徴収・届出受付などの事務を行っています。保険料の賦課・医療の費用負担などは、千葉県後期高齢者医療広域連合が行っています。

#### ▼ 介護保険会計

介護を必要とする人へ、各種介護サービスを行っています。介護保険料と国・県・市の負担金で運営されています。

#### ▼ 下水道事業会計

下水道使用料、受益者負担金及び一般会計からの繰入金などを財源とし、鏡ヶ浦クリーンセンターの維持管理、下水管整備などを行っています。





## 平成24年度決算額は？

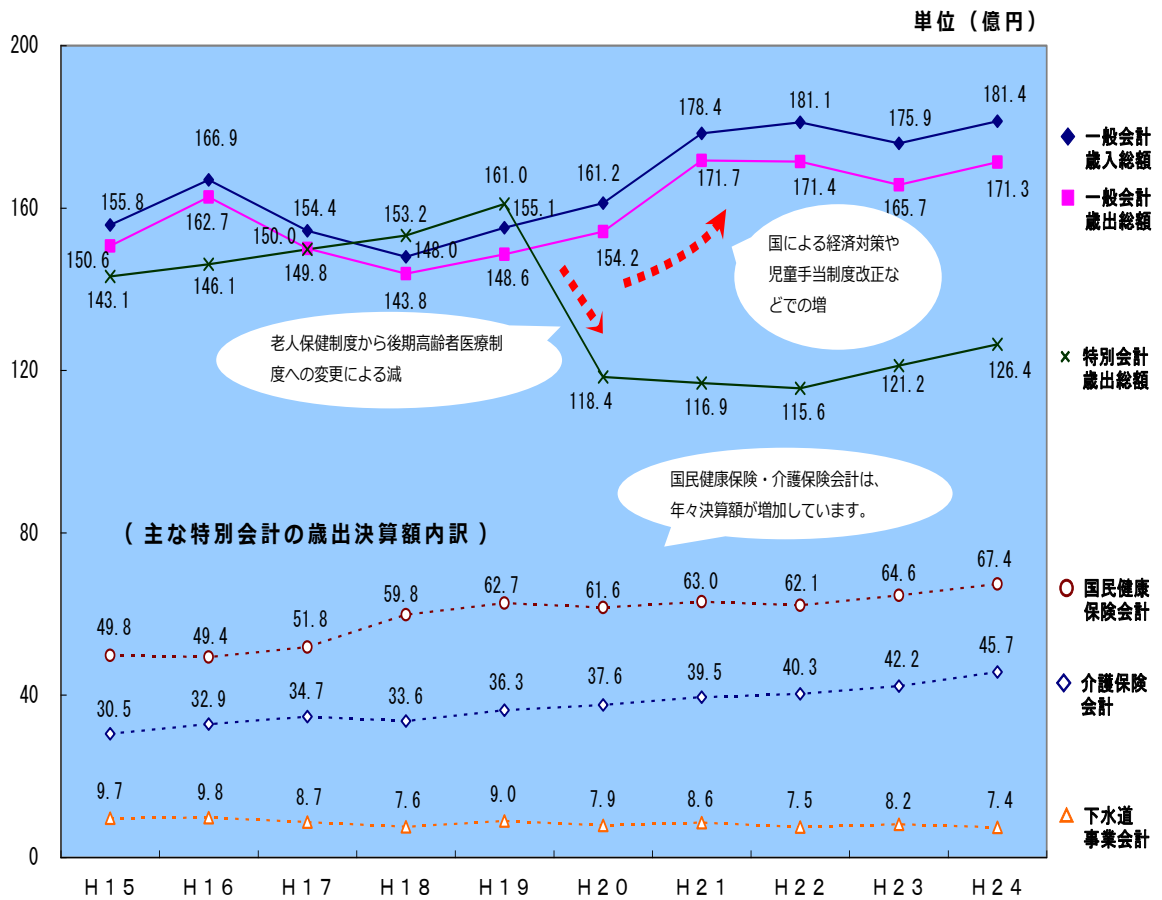
㊤ 一般会計と特別会計の決算額は以下のとおりです。

会計名		歳入	歳出	差引額
一般会計		181億4,015万円	171億2,574万円	10億1,441万円
特別会計	国民健康保険	69億6,118万円	67億3,877万円	2億2,241万円
	後期高齢者医療	5億8,674万円	5億8,540万円	134万円
	介護保険	46億9,441万円	45億7,296万円	1億2,145万円
	下水道事業	7億7,529万円	7億4,464万円	3,065万円
	小計（特別会計）	130億1,762万円	126億4,177万円	3億7,585万円
合計		311億5,777万円	297億6,751万円	13億9,026万円



## ここ数年の決算額の推移は、どうなっているの？

▼ 一般会計・特別会計の決算額の推移（過去10年間）



### 3 収入（歳入決算額）の種類と金額について

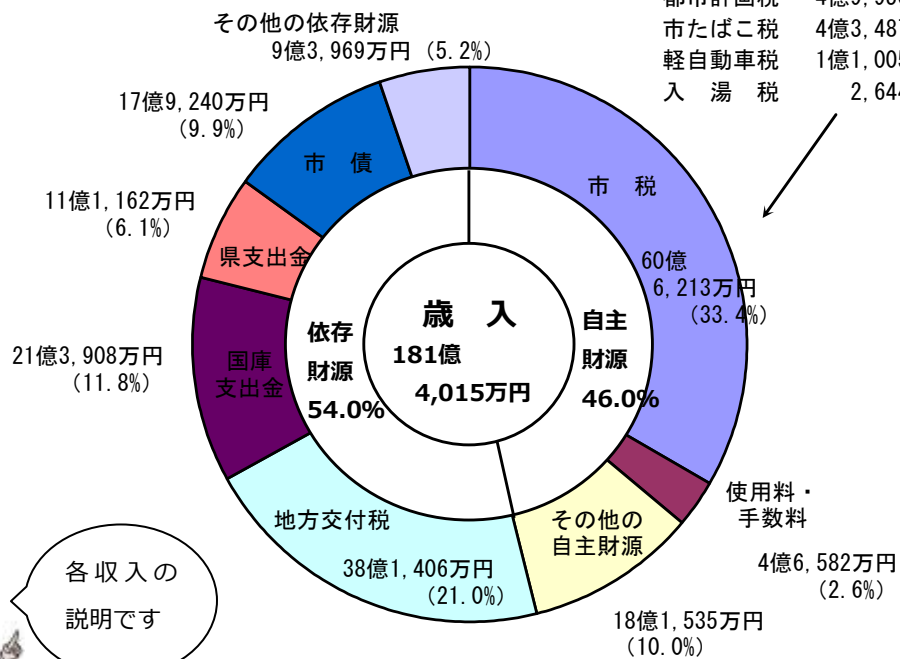
歳入編

#### 収入の種類と金額を教えてください？

㊤ 一般会計の歳入決算額は以下のとおりです。

〔市税内訳〕

市民税 25億1,039万円  
 固定資産税 24億8,088万円  
 都市計画税 4億9,950万円  
 市たばこ税 4億3,487万円  
 軽自動車税 1億1,005万円  
 入湯税 2,644万円



各収入の説明です

項目	説明	具体例
市税	皆さまから市に納めていただいた税金です。	8ページ参照
使用料 手数料	市の施設利用や証明書類の発行時にいただいているお金です。	公民館使用料 住民票発行手数料など
その他の 自主財源	特定事業に必要な経費の一部を負担金として納めていただくお金や前年度決算における剰余金などです。	保育園の保育料 がん検診徴収金 繰越金など
地方交付税	全国の地方公共団体が、一定レベルの行政サービスが出来るよう国から交付されるお金です。	
国庫支出金 県支出金	特定事業の経費の一部として、国や千葉県から交付されるお金です。	児童手当負担金 選挙費用委託金など
市債	公共施設（道路や学校など）の建設や改修をする際に国や銀行などから借りるお金です。	
その他の 依存財源	皆さまが国や県に納めた税金の一部が、地方に譲与されるお金などです。	地方消費税交付金 地方譲与税など

## ❓ 自主財源・依存財源とはどういう意味なの？

㊤ 自主財源とは、市が自主的に調達できる収入のことです。家計に例えると、給与や臨時収入、貯金の取崩しにあたります。

一方、依存財源とは、国・県から交付される収入や、市債（借金）収入などのことで、家計に例えると、親や親類などからの援助や、生活ローンにあたります。

自主財源の比率が高いほど、財政が安定し自主的な財政運営ができると言えます。

### ▼ 各団体の自主財源比率

館山市	… 46.0%
県内市平均	… 54.0%
県内類似団体（※）平均	… 43.2%
南房総市	… 29.1%
鴨川市	… 42.1%

※ 類似団体の説明は14ページを参照して下さい。

（館山市はH24決算、館山市以外の数値は

H23決算数値を引用しています）



## ❓ どうして借金（市債の借入）をするの？

㊤ 市では、道路や学校など公共施設を整備するときに、国や銀行からお金を借りています。理由は大きく2つあります。

1点目に、公共施設の整備には多額の費用がかかるため、1度に支出するには負担が大きいためです。借入により分割で返済することによって、その年の支出を少なくすることができ、他の事業にも取り組むことができるからです。家計に例えると住宅ローンにあたります。

2点目に、将来にわたり利用される公共施設は、整備した年に住んでいる人だけが負担するのではなく、将来住む人にもその借金の返済を負担していただくことで、市民の皆さまの負担を公平にできるためです。

後ろの16ページで、市の借金（市債）残高や、貯金（基金）の状況について説明しています。ご覧になって下さい。





## 市税収入について、詳しく教えてください。

- ㊤ 市民の皆さまが、直接館山市に納めていただく税金は、合計7種類あります。詳しい説明は以下のとおりです。

項目	説明	種類
個人市民税	市民の皆さまから、給与などの所得を基準に納めていただく税金です。	普通税
法人市民税	市内に事業所などを有する会社が、収益などを基準に納める税金です。	普通税
固定資産税	市内に土地・家屋および償却資産を所有している方が、その固定資産の価格をもとに算定される税額を納めていただく税金です。	普通税
市たばこ税	たばこの製造業者や卸売販売業者などが、市内の小売販売業者に売り渡した「たばこ」に対して課されるものです。皆さまが購入するたばこの代金の中に税金が含まれています。	普通税
軽自動車税	軽自動車や原動機付自転車などを所有している人に、納めていただく税金です。	普通税
都市計画税	都市計画法による都市計画区域内（館山市は市内全域が指定）にある土地・家屋に対してかかる税金です。	目的税
入湯税	鉱泉浴場における入浴に対し課税されます。	目的税

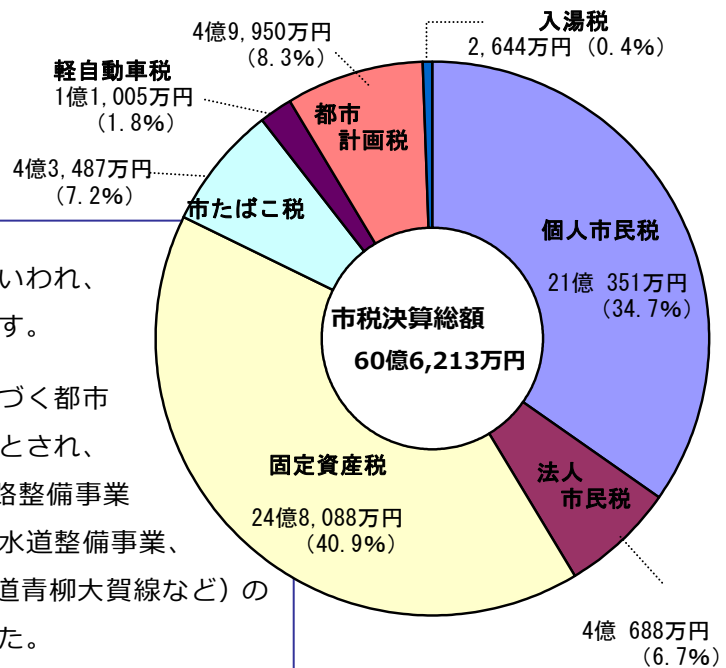


### 目的税の 使いみち

都市計画税と入湯税は目的税といわれ、使いみちが定められている税金です。

都市計画税は、都市計画法に基づく都市計画事業に要する費用に使うこととされ、平成24年度は、船形館山港線道路整備事業（仮称：船形バイパス）や公共下水道整備事業、過去に実施した都市計画事業（市道青柳大賀線など）の市債返済費用などに充てられました。

入湯税は、観光振興事業や消防施設整備などに要する費用に使うこととされ、観光イベントや消防車両の購入費用などに充てられました。



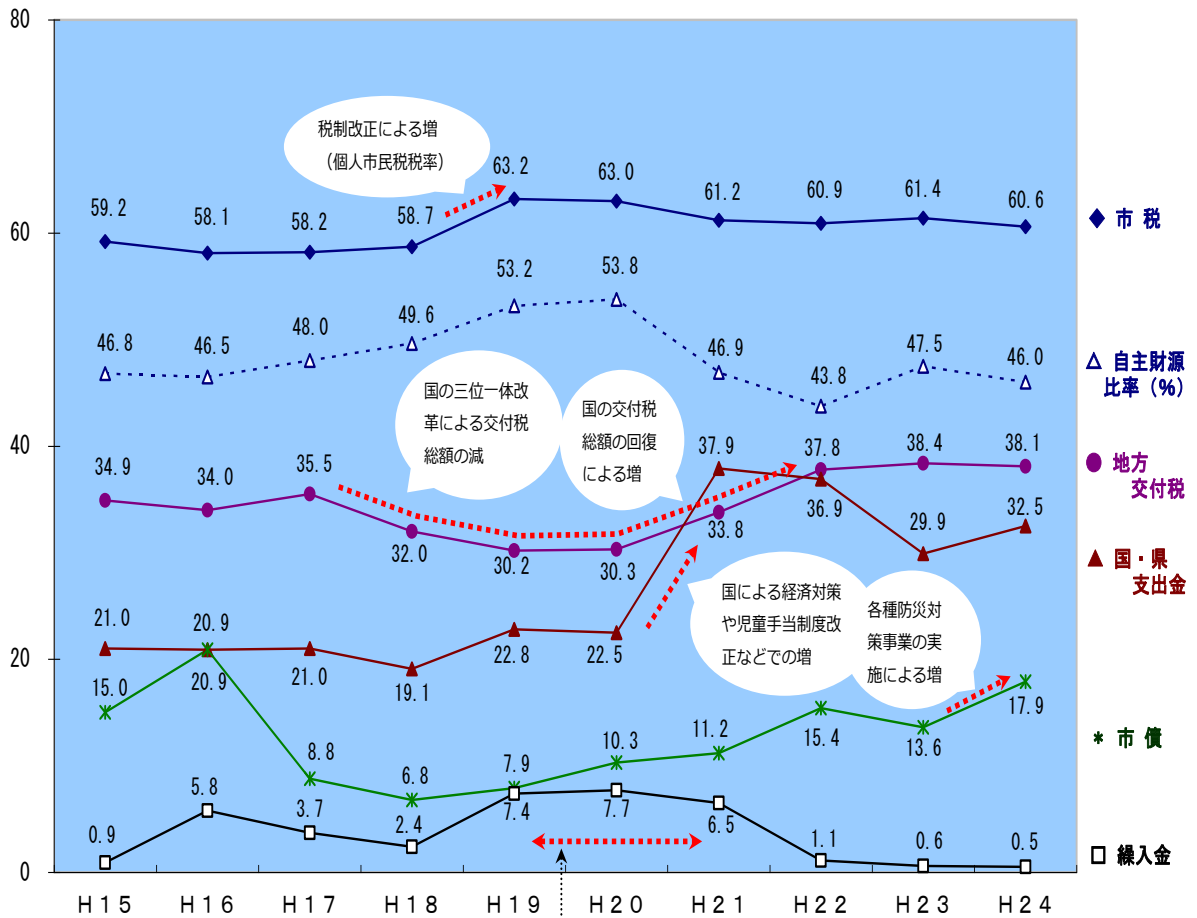




## 歳入決算の推移はどうなっているの？

### ▼ 歳入決算額の推移（過去10年間）

（単位：億円）



特徴と傾向を説明します

交付税の減少などにより、基金取崩し（繰入金）が増

市税収入は、平成19年の税制改正により増加しましたが、その後は、長引く景気低迷や生産人口の減少などにより落ち込んでいます。

地方交付税は、国の交付税総額に左右され年度間の変動がありますが、近年は増加傾向にあります。

国・県支出金は、国の制度改正や市の実施事業に関連し、年度間の変動が大きくなりますが、近年は、国の経済対策や児童手当制度改正などにより増加しています。

**平成19～21年度においては、貯金の取崩し（※ 財政調整基金繰入金）が多くなりましたが、平成22年決算以降は、貯金の取崩を行わず、その年の収入で支出を賅うことが出来ました。**

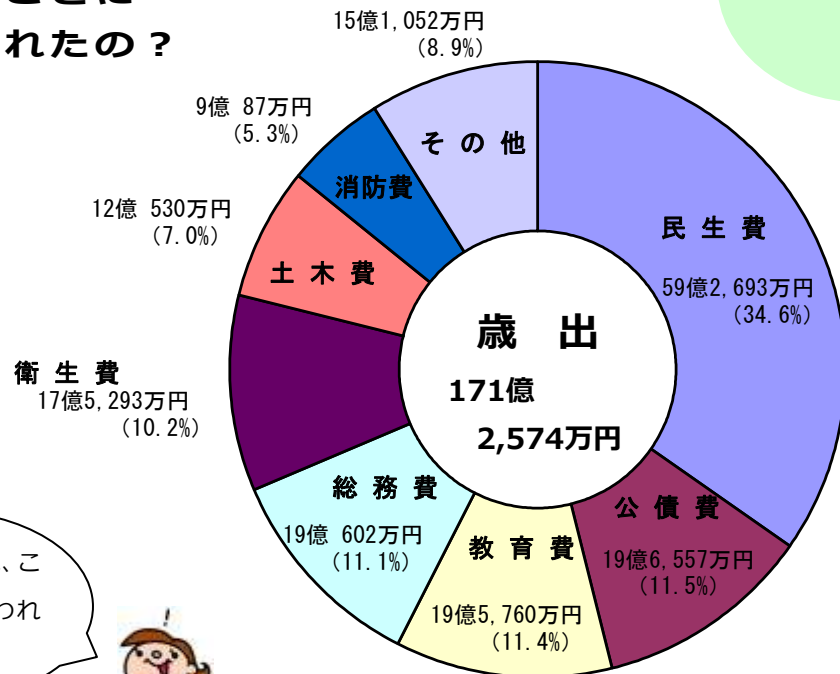


## 4 支出（歳出決算額）の種類と金額について

歳出編



どんなことに  
使われたの？



私たちの税金は、  
こんな用途に使われ  
ているのね



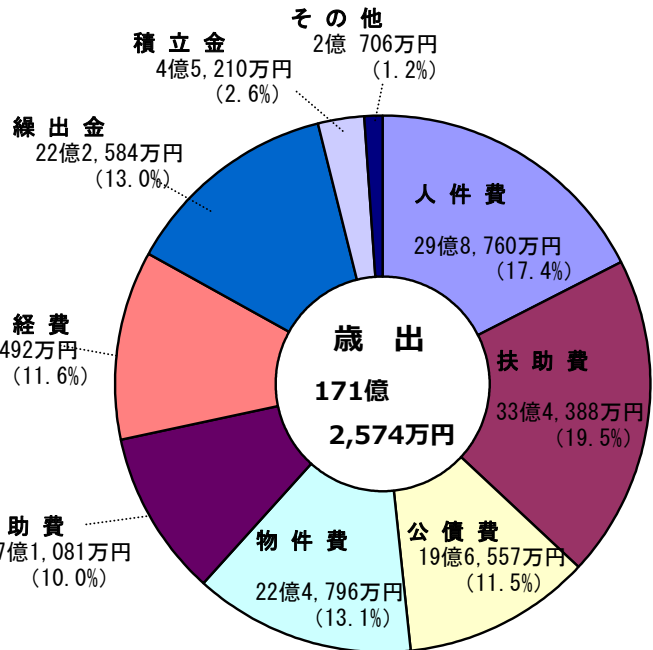
目的名称	具 体 例
民生費	福祉の推進のため (生活保護、障害・介護、子育て関連経費など)
公債費	市債借入金の返済費用(元金・利息)
教育費	教育(学校整備や給食事業など)、 文化振興(博物館運営など)、スポーツ振興など
総務費	防災関連(防災行政無線整備など)、 地区コミュニティ費用・その他一般的な事務費用
衛生費	清掃関連(ごみ処理経費)、 医療関連(予防接種など)、上水道整備費用など
土木費	道路・橋梁・河川整備や 下水道整備事業に対する繰出金など
消防費	救急救命や消防活動事業など
その他	農業・水産業・観光業・商工業の振興や 災害関連経費、議会経費など



## 市職員の人件費などは、どのくらいなの？

支出は前ページで説明した「目的別」のほか、使い方の「性質別」で表すことができます。

右図は、平成24年度「性質別」の決算額です。



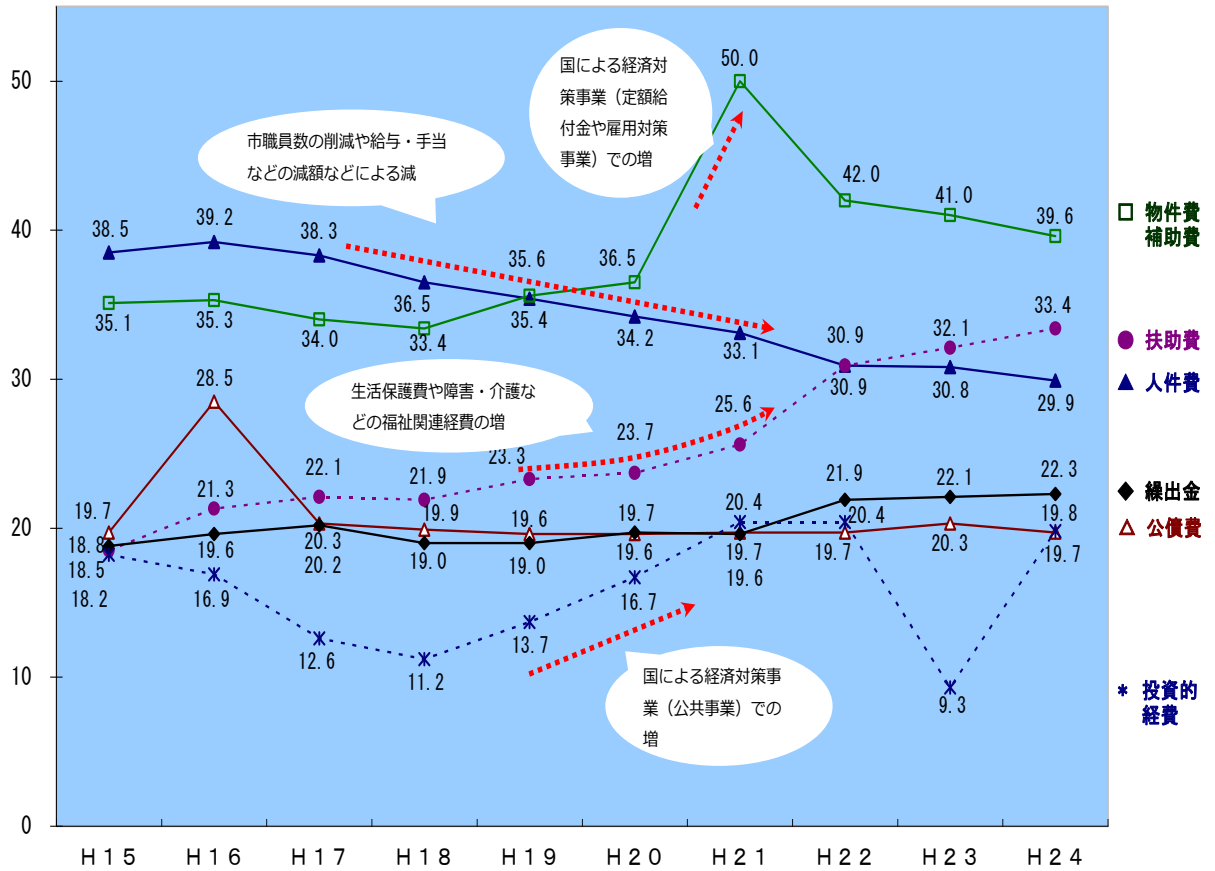
性質名称	説明・具体例	
人件費	市長や市議会議員、市職員の給料・手当、各種委員や消防団員への報酬などの費用	
扶助費	生活困窮者や障害者、子育てなどの生活をサポートするための費用（生活保護費、障害者・乳幼児医療費、児童手当など）	
公債費	借金（市債）の返済費用（元金・利息）	
物件費	光熱水費、事務用機器のリース代、消耗品購入費、業務委託費用、非常勤職員の賃金など消費的な性質をもつ経費	
補助費	各種団体活動への補助金（老人クラブ補助・観光団体補助など）や、各種連合組織への負担金（安房郡市広域市町村圏事務組合）などの費用	
投資的経費	道路・学校などの公共施設の改修費用や災害による施設復旧費用など、将来も資産となって残るものに対する支出	
繰出金	特別会計（国保・介護など）の運営を補うため、一般会計から支出する経費	
積立金	基金（財政調整基金など）への積立費用	
その他	施設の維持補修費や他団体への貸付金・出資金など	



## 歳出決算の推移はどうなっているの？

▼ 歳出決算額の推移（過去10年間 ※性質別）

(単位：億円)



特徴と傾向を説明します

人件費は、職員数の削減や職員給与の減額（3～5%）、各種手当の廃止・削減などにより、右肩下がり減少しています。

扶助費は、生活保護費や障害・介護などの福祉関係費用、児童手当の制度改正などにより、右肩上がり増加し、平成22年度からは市の性質別歳出の中で、一番多額の支出となっています。

物件費・補助費は、市の事業を民間委託事業へ移行したことや国の経済対策に伴う雇用対策事業などの増加により、近年増加傾向にあります。

繰出金は、高齢者人口の増加などに伴う介護保険の給付費増加などにより、増加傾向となっています。

このように、年々増加する扶助費や繰出金などの社会保障関係経費を、人件費の削減で対処している状況が見取れます。



## 5 決算を家計に例えてみましょう

家計簿

### たてやま家 1ヶ月の家計簿

一般会計決算（歳入）を  
家族の総収入 300 万円  
（1ヶ月 25 万円）の  
家計に例えて説明します



給与収入は、年間  
138 万円となり総  
収入の半分以下と  
なっています。

#### 《 収 入 》

給与	11.5 万円				
<table border="1"> <tr> <td>世帯主 給与 (市税収入)</td> <td>8.4 万円</td> </tr> <tr> <td>パート 収入 (使用料など)</td> <td>3.1 万円</td> </tr> </table>	世帯主 給与 (市税収入)	8.4 万円	パート 収入 (使用料など)	3.1 万円	
世帯主 給与 (市税収入)	8.4 万円				
パート 収入 (使用料など)	3.1 万円				
貯金の取崩し (基金繰入金)	- 万円				
親からの援助 (地方交付税や国県支出金など)	11.0 万円				
銀行からの借入	2.5 万円				
<b>( 合 計 )</b>	<b>25 万円</b>				

#### 《 支 出 》

食費（人件費）	4.1 万円
医療費・介護費（扶助費）	4.6 万円
ローンの返済（公債費）	2.7 万円
光熱水費・消耗品購入 (物件費)	3.1 万円
地区会費やサークル活動費 (補助費)	2.4 万円
家のリフォーム費用 (投資的経費)	2.7 万円
子どもへ仕送り（繰出金）	3.1 万円
貯蓄や知人への貸付費用 (その他)	0.9 万円
<b>( 合 計 )</b>	<b>23 万 6 千円</b>

—— たてやま家の 1 年間で振り返り ——

毎年増え続ける、医療費・介護費用（扶助費）を捻出するため、食費（人件費）を切り詰め、光熱水費の節約（物件費）などにより貯金を取崩すことなく 1 年間で過ごしてきました。

また、毎月 1.4 万円の剰余金（黒字 ※実額で 10 億 1,441 万円）を出すことができました。

しかしながら、収入のうち約 4 割が親からの援助に頼っており、不安定な家計状況であることが見て取れます。

1 年間やり繰り  
できたゾ!



## 6 決算における他団体との比較

比較



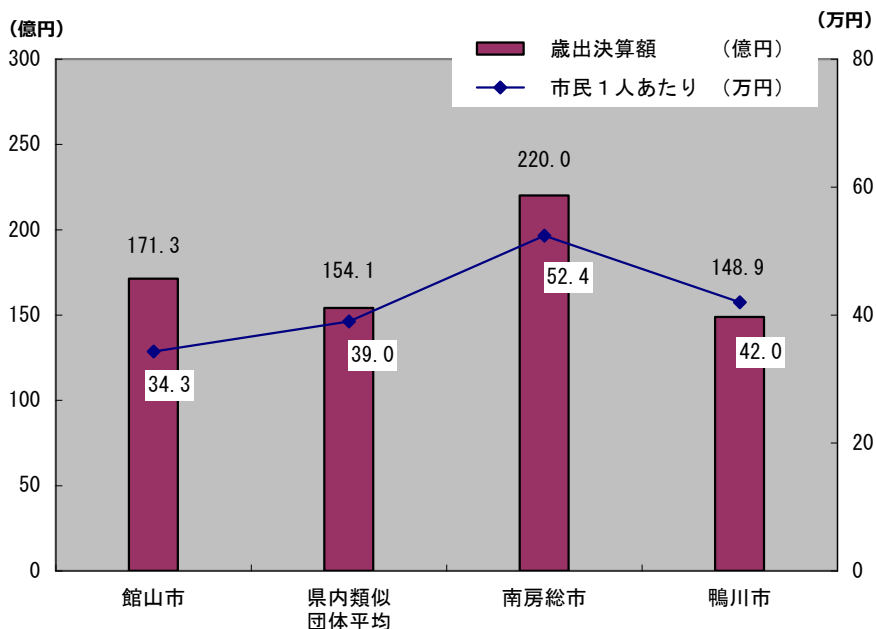
他の市と決算規模を比べると、  
多いの？ 少ないの？

- ㊦ 決算の規模は、おおよそ人口に比例します。住む人が多くなると、多くの税収が入るとともに、かかる行政サービス費用も増えるためです。よって、他市の状況との比較を行う場合には、人口規模や産業構造が同程度の団体と比較することが必要となります。

以下の図は県内類似団体や近隣市と市民一人あたりに使われた歳出決算額を比べたものです。

### ▼ 普通会計歳出決算額と

#### 市民1人あたりに使われた決算額（歳出）の比較



館山市は、市民1人あたりに使われた  
決算額（歳出）が少なくなっています。

なぜでしょう！？

次のページで分析してみました。

### 用語解説

#### ▼ 類似団体

国の統計区分で、市町村を人口規模や産業構造により細分化して分類したものです。

館山市と同じ分類は、県内で勝浦・鴨川・富津・富里・南房総・いすみ・匝瑳の7団体です。

#### ▼ 普通会計

市町村ごとに会計の範囲が異なるため、総務省が全国自治体の財政状況を比較するため定めた財政上の区分です。館山市の普通会計は、一般会計のみとなります。



歳入・歳出決算額  
の主な項目を、人口  
で割ることにより  
市民1人当たりの  
金額として表して  
みました。



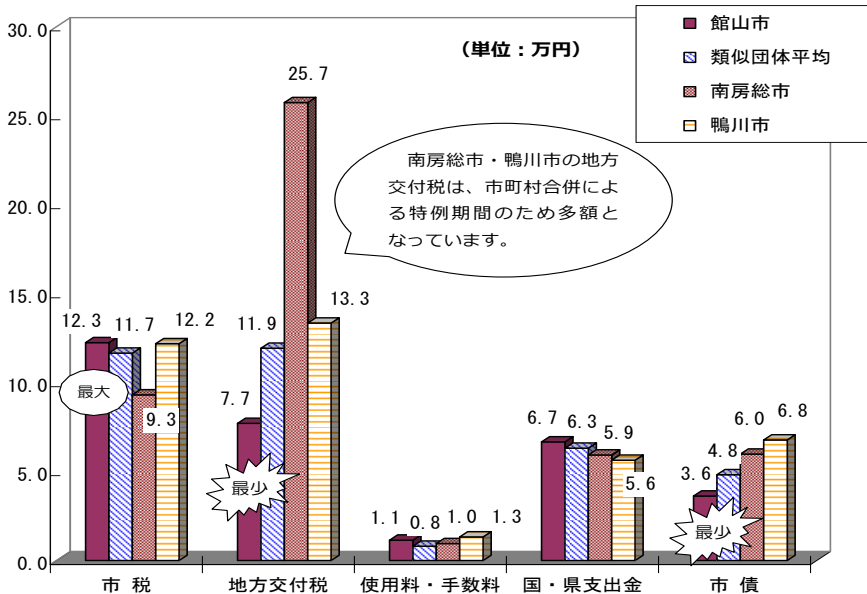
**解 説**

歳入では、市税収入が最大となっているものの、地方交付税や市債（借金）が少なくなっています。一方で、使いみち（歳出）を見てみると、人件費・物件費・投資的経費（公共事業）などが最少となっていますが、扶助費・繰出金の社会保障関係経費への使いみちが最大となっています。

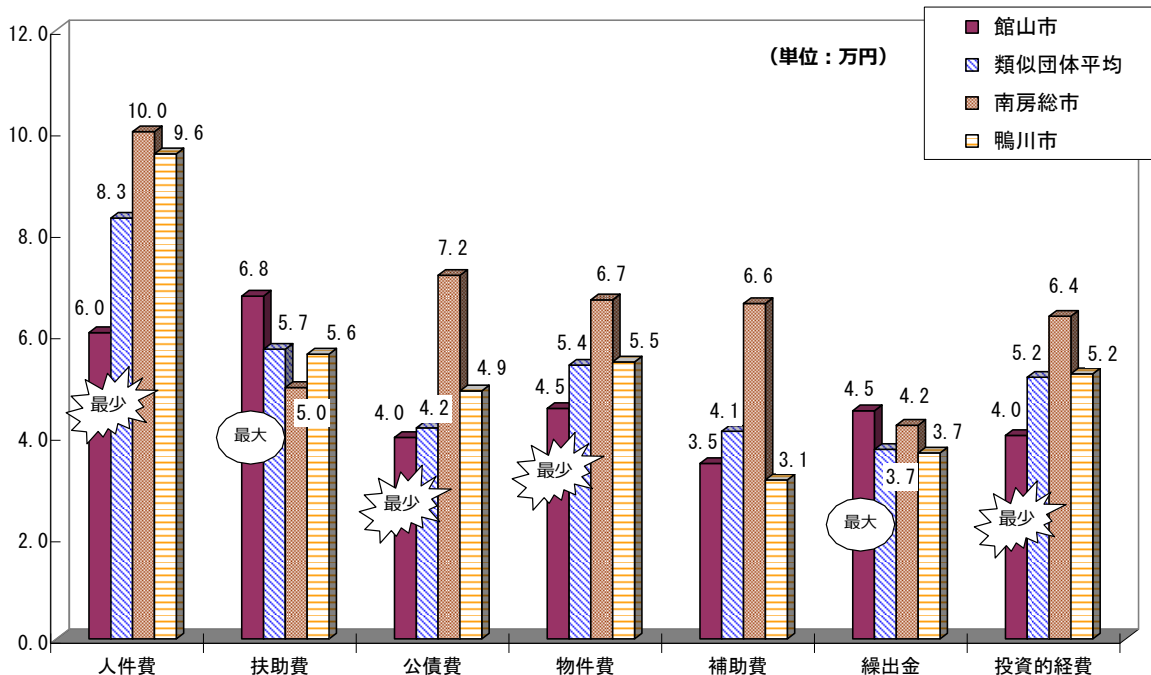
以上のことから、他団体と比較して、

- 1 借金（市債）を少なくし、公共事業（投資的経費）を抑えている
- 2 人件費や物件費などを抑制し、扶助費・繰出金などの社会保障関係への費用は手厚く支出していることなどが考えられます。

▼ 市民1人当たりの歳入決算額の比較



▼ 市民1人当たりに使われた歳出決算額の比較（性質別）



## 7 市の借金（市債残高）と貯金（基金残高）の状況

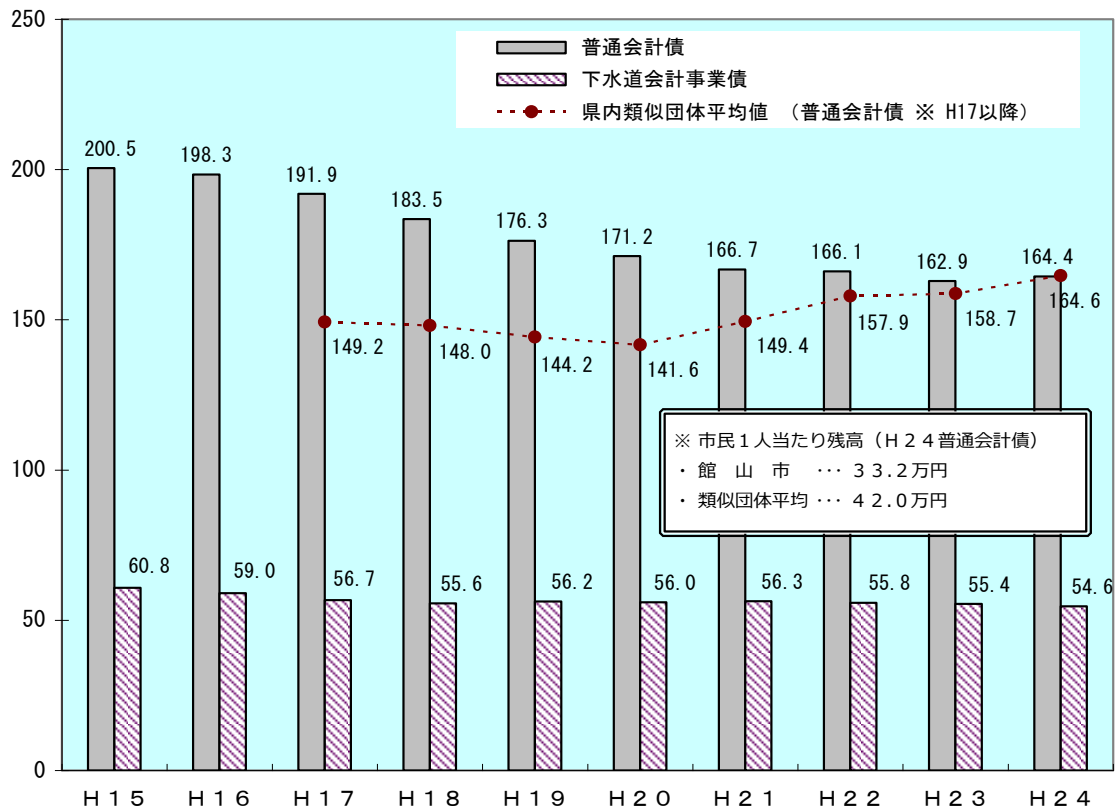
借  
貯  
金



### 市の借金は、どのくらいあるの？

#### ▼ 市債残高の推移及び県内類似団体との比較

(単位：億円)



#### 市債残高の 特徴と傾向

市債には、財源確保の目的と、将来にわたって利用される公共施設（道路・下水道・教育施設など）の整備費用について、世代間の負担を調整する役割があります。

市の借入残高（普通会計債）は、平成15年度末の約200億円をピークに年々減少し続けてきましたが、東日本大震災後に創設された財政負担の少ない（※注①）市債の有効活用により、学校耐震改修事業やデジタル防災行政無線整備事業などを積極的に実施したことにより、平成24年度末残高は、前年比1.5億円の増加となりました。

一方、他団体（類似団体）と比較すると、市民1人当たりの残高は、館山市の方が少なくなっていることがわかります。館山市では、近年の低迷する経済情勢の中、将来の負担をできるだけ抑えることで、健全な財政運営が保てるよう、新たな借入を抑制してきたためです。

（※注①）市債のなかには、元利償還金を地方交付税に上乗せする仕組みがあり、学校耐震改修事業などは、借入額の70～80%分が将来の地方交付税で措置されます。

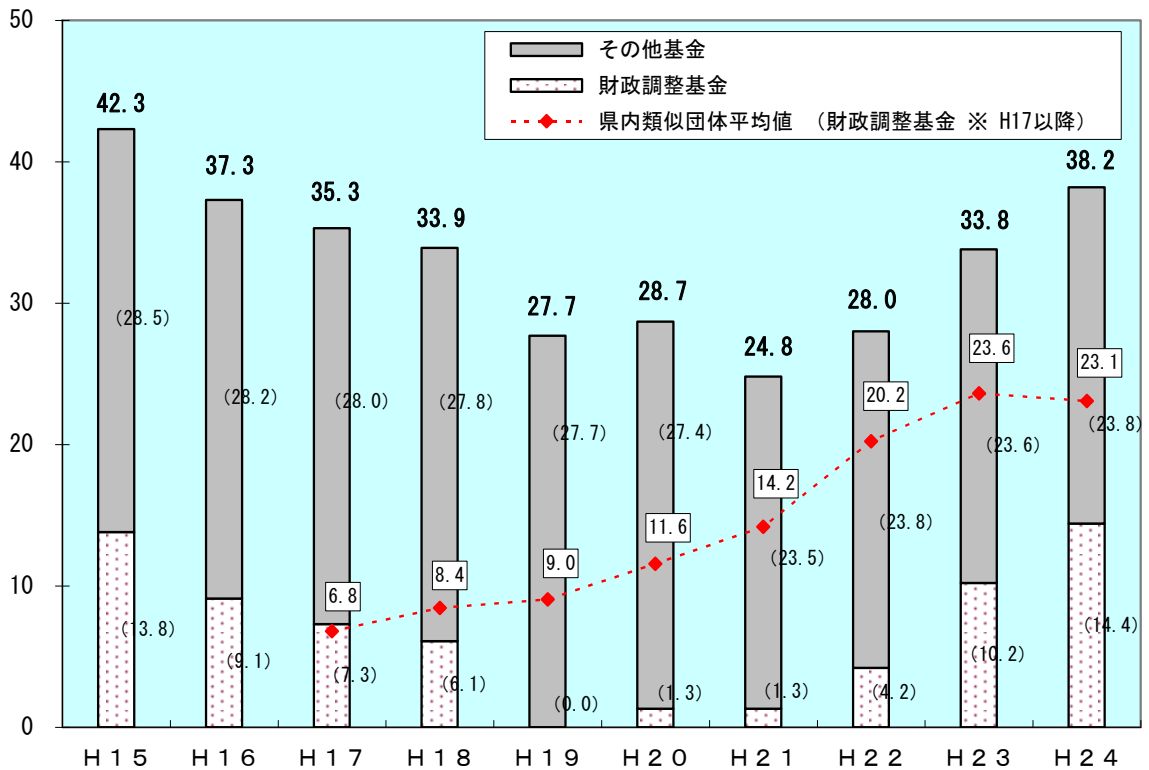




## 市の貯金は、どのくらいあるの？

### ▼ 基金残高の推移及び県内類似団体との比較

(単位：億円)



※ 市民1人当たり残高 (H24 財政調整基金)

- ・ 館山市 … 2.9万円
- ・ 類似団体平均 … 6.0万円



#### 基金残高の特徴と傾向

市には、特定の目的のため積立てを行う基金や定額の資金を運用するための基金などがあります。基金の中でも、財政調整基金は、急激な税収の落ち込みや災害などの不測の事態に備えるためのものです。

館山市の財政調整基金は、平成15年度に約14億円の積立額がありましたが、地方交付税の削減などの影響により年々基金を取崩し、平成19年度決算では、128万円の残高まで落ち込みました。その後「行財政改革による効果」や地方交付税の増などにより積立てを行い、平成24年度末では14.4億円まで回復しました。

なお、県内類似団体平均の財政調整基金残高と比較すると、館山市の残高は少ないことが分かります。今後とも、行財政改革による歳出削減及び歳入増加を推進し、不測の事態に即応可能な適正な基金の保有に努めていきます。

## 8 決算から分かる各種財政指標について

財政指標



市の財政状況を表す指標は、  
どんなものがあるの？

- Ⓐ 各種財政指標は、自治体の財政状況を判断する目安です。様々な指標がありますが、主なものをご紹介します。

### 財政力指数

自治体の財政力を示す数値です。数値の高い方が財政力の強い自治体であり、1.0 を超える自治体は、市税など標準的な収入で標準的な行政サービス経費を全て賄える（＝地方交付税が不交付となる団体）団体です。

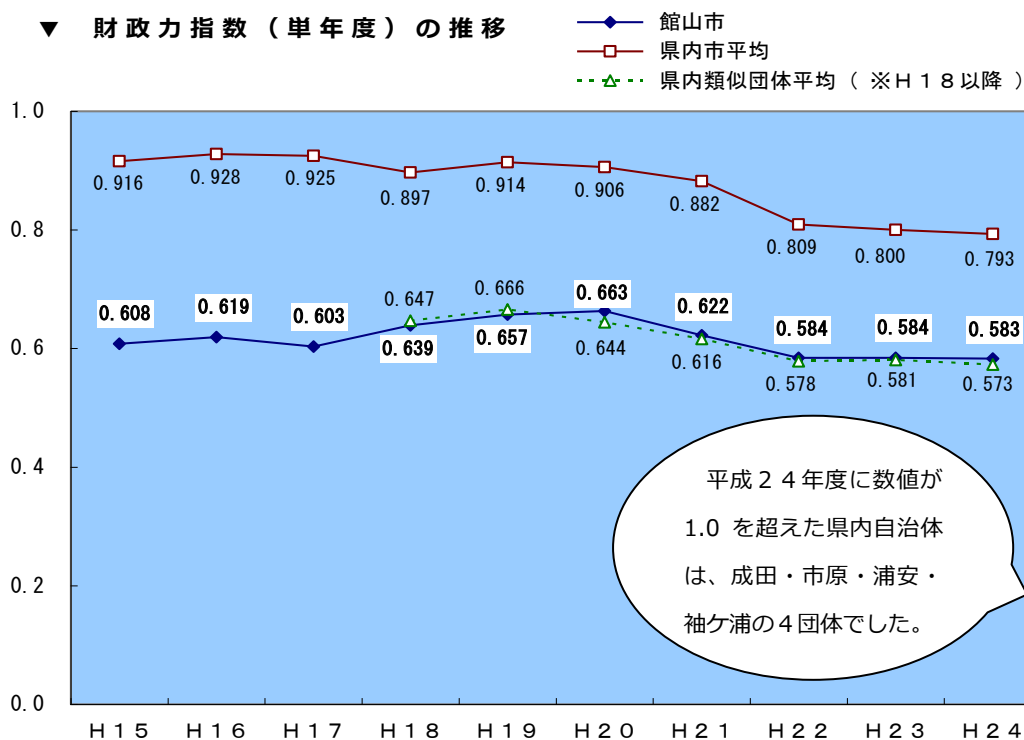
（算定式 = 基準財政収入額 ÷ 基準財政需要額）

（館山市 H24 数値：0.583 = 48 億 6,820 万円 ÷ 83 億 4,386 万円）

※ 基準財政収入額 …… 自治体が自由に使うことのできる収入額（一般財源）のことで、市税収入額の 75% と、譲与税（地方消費税交付金など）などの税外収入の 75%（一部 100%）の合算額です。

※ 基準財政需要額 …… 標準的な行政活動を行うために必要な経費の金額です。人口や面積、道路や公園、公共施設数などにより、国の基準で算定した館山市の最低限必要な経費といえます。

#### ▼ 財政力指数（単年度）の推移



## 経常収支比率

自治体の財政構造の弾力性（＝自治体が自由に使えるお金が多くあること）を示す指標で、自由に使える経常的な財源（市税などの一般財源）が、経常的に支出される経費（人件費・扶助費・公債費など）にどれだけ充てられたかを表します。

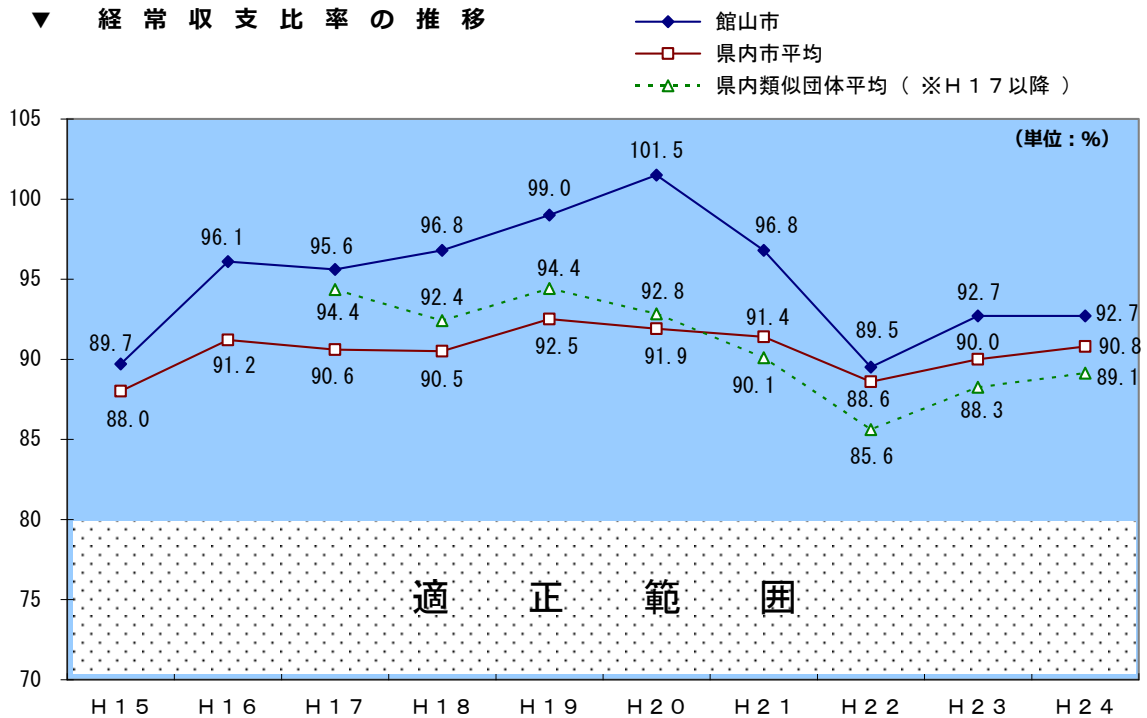
家計に例えると、食費・医療費・ローン返済費用など固定経費の支払が、毎月の給料に占める割合であり、数値が高いほど、家計（＝財政）のやり繰りが苦しいということになります。

（算定式＝経常経費一般財源 ÷ 経常一般財源）

（館山市 H24 数値：92.7%＝100億846万円 ÷ 107億9,223万円）

※ 望ましいとされている比率は、70～80%と言われております。

### ▼ 経常収支比率の推移



市では、市税などの経常的な収入の減少に加え、扶助費などの経常的な支出増加により、平成17年以降年々上昇し、平成20年度には100%を超過しました。

その後、行財政改革による取組み（人件費削減・各事業の見直しによる支出削減）や地方交付税の増加などにより、比率が下がりました。



## 財政健全化判断比率

平成 19 年に自治体の財政破綻を未然に防ぐことを目的に「自治体財政健全化法」が成立し、財政の健全化を判断する 4 つの指標が、義務付けされました。

各指標には、国の定める基準があり、基準値を超える団体は財政健全化計画などを作成し、その計画に沿った行政運営を行うこととなります。

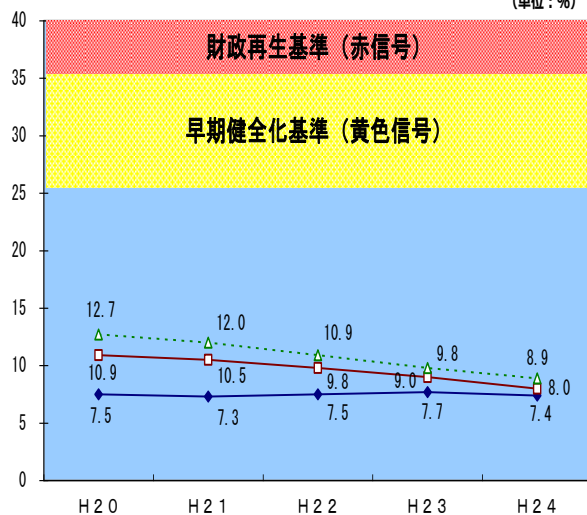
(単位：%)

4 つの指標	市数値 (H24)	国の定める基準		説明
		早期健全化基準 (黄信号)	財政再生基準 (赤信号)	
実質赤字比率	—	13.23	20.0	普通会計の赤字の程度を表す指標
連結実質赤字比率	—	18.23	30.0	すべての会計を合算した市全体の赤字の程度を表す指標 (市全体の財政運営の深刻度を示す)
実質公債費比率	7.4	25.0	35.0	借入金の返済額などが財政に及ぼす負担を表す指標 (資金繰りの危険度を示す)
将来負担比率	70.7	350.0	—	借入金残高や将来支払いの可能性のある負担などを、現時点で表す指標 (将来の財政運営の危険度を示す)

※ 実質赤字比率・連結実質赤字比率は、赤字額がない(黒字)ため「—」で表示しています。

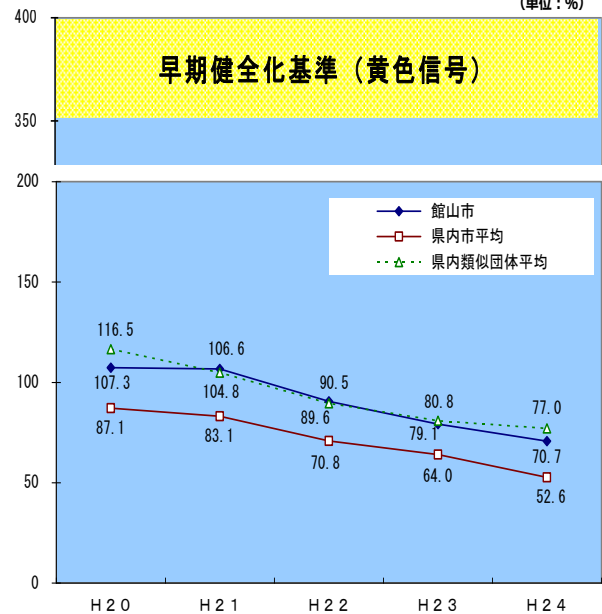
### ▼ 実質公債費比率の推移

● 館山市  
 □ 県内市平均  
 △ 県内類似団体平均  
 (単位：%)



### ▼ 将来負担比率の推移

(単位：%)



いずれの指標も、国の定めた基準を大幅に下回っており、県内平均値とほぼ同水準となっています。



※ 各種指標の平成 24 年度数値は、速報値であり確定値ではありません。

## 9 行財政改革の取組みについて

行財政  
改革

### ❓ 行財政改革とは？なぜ取組みが必要なの？

- ㊦ 現在、長引く景気低迷や高齢化社会に伴う生産人口の減少などにより国、地方ともに厳しい財政状況が続きます。



館山市においても、市税収入が減少し続けるなか、生活保護費をはじめ、国民健康保険特別会計や介護保険特別会計への一般会計からの繰出金など社会福祉関連経費への支出が急激に増加しており、厳しい財政運営となっています。

その一方、市民の皆さまからの要望・ニーズは、ますます複雑・多様化しており、それらの新たな市民ニーズに対しても迅速かつ的確に対応し、市民サービスの向上に努める必要があります。

支出が収入を上回り、基金からの繰入金（貯金の取崩し）にて財源不足を補う財政状況では、貯金がある間は現行の行政サービスの水準を維持できますが、貯金が無くなったあとは、極端な市民サービスの低下や道路などのインフラ整備、経済活性化策などの投資的な事業も実施できなくなってしまいます。

そのため、各事業の見直しによる支出削減や行政サービスを受け入れる人に応分の負担を求めるなどの収入増加策などにより、財政収支の均衡（収入に見合った支出となるような財政運営）を目指すために行財政改革が必要なのです。

**「最少の経費で  
最大の効果  
を目指します！」**





## これまでの取組み内容とその結果は？

### 館山市行財政改革プラン（平成17～21年度）における主な取組結果

#### 《 歳入増加策 》

- ・ 利用目的のない市有地の売却  
3億4,734万円
- ・ 適正、公平な受益者負担とするための  
使用料、手数料の見直し  
(ごみ処理手数料の改定など)  
2,430万円
- ・ 滞納処分の強化による市税徴収率  
の向上  
1,165万円

財政効果額は5カ年合計で約  
11億円、累積では約26億円  
となりました。

#### 《 歳出削減策 》

- ・ 人件費削減 5億4,710万円  
(職員数5カ年で47人削減)  
(給料・各種手当の削減)  
(特別職給与の削減) など
- ・ 一部事務組合(安房郡市広域市町村圏  
事務組合や三芳水道企業団)に対する補  
助金などの削減 1億627万円
- ・ 各種団体への補助金削減  
1,355万円
- ・ 敬老祝金の引下げや高齢者  
デイサービス事業の廃止 860万円



### 現在の主な取組み状況（平成22～24年度決算）

#### 《 歳入増加策 》

- ・ 市有財産の売却 5,672万円  
(未利用地、副市長公舎など)
- ・ 公共施設使用料改定 1,687万円  
(コミュニティセンター・市民運動  
場などの使用料単価の増額や、光  
熱水費などの実費徴収など)
- ・ し尿処理手数料の改定 4,500万円

今後も、「各種施設の効率的運  
営・統廃合・民営化」の検討  
や自主財源の確保などについ  
て取組んでいきます。

#### 《 歳出削減策 》

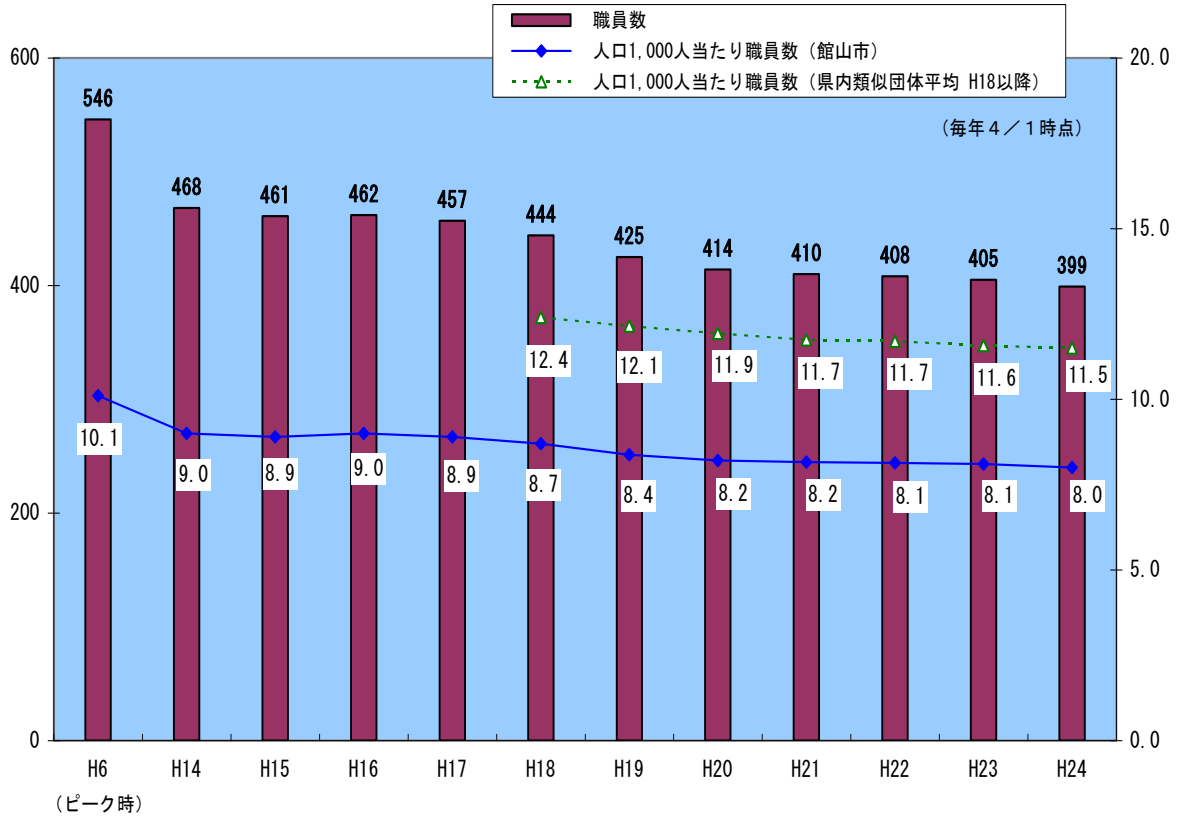
- ・ 人件費削減 5億8,569万円  
(職員数11人削減)  
(給料3～5%削減、  
各種手当の廃止・削減) など
- ・ 短期人間ドックの補助金引き下げ  
625万円
- ・ 生活排水処理施設の休止 602万円
- ・ 市大型バスの運営方法の見直し  
448万円
- ・ 温水プール運営方法の見直し  
410万円





## 人件費の削減が大きいけど、 市職員数はどのくらい減らしてきたの？

### ▼ 市職員数の推移



職員数は、退職者の不補充や業務委託を推進したことなどにより、年々減少しています。ピーク時の平成6年度と比較すると147名（26.9%）の減員となっています。

また、県内類似団体と人口1,000人当たりの職員数を比較すると、館山市の職員数は非常に少なくなっていることが分かります。

職員数が少ないことは、人件費に係る支出が減ることとなり、扶助費などの他の行政サービスへ支出することが可能となります。

一方で、職員のマンパワー不足により、きめ細かな行政サービス水準を維持できるのかとのお意見もあるかと思えます。

市では、「最少の経費で最大の効果を挙げる」ことを目標に、今後とも職員一体となり、住みよいまちづくりのため努力していきます。



## 10 行政サービスの費用負担

### ? 私たちの身近にある色々な行政サービス その費用は誰が負担しているの？

身近な行政サービスについて  
「どれほどの経費がかかって、その  
経費は誰が負担しているのか？」  
そんな疑問を解消するため、いくつ  
かの事例を紹介します。

#### 可燃ごみ（1袋）を処理するために…

処理経費 約 283円

経費負担 約 53円

（ごみを搬出する方からの徴収金 ※ごみ袋代）  
約 230円（皆さまからの税金）



#### 【参考情報】

可燃ごみ量 年/ 10,980 t（※市民一人当たり約222kg）

※ ごみステーション搬出量

処理経費 年/ 4億4,503万円（歳出）

※ 収集・運搬経費、焼却処分経費など

経費負担 年/ 8,392万円（歳入）

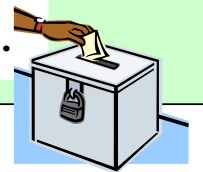
※ 「ごみ指定袋」手数料

#### 衆議院議員選挙において、 有権者・投票者1名にかかる費用として…

所要経費 約 460円（有権者1名当たり）

約 786円（投票者1名当たり）

経費負担 全額、国からの委託金（皆さまが国へ納めた税金）



#### 【参考情報】

有権者数 41,657人（投票者数 24,375人）

所要経費 1,916万円（歳出）

※ 人件費・入場券作成経費・ポスター掲示場設置費用など

経費負担 1,916万円（歳入）

※ 国からの事務委託金



**各種証明書（住民票・戸籍謄本など）や  
届出書類（出生・婚姻など）を1件処理  
するためにかかる費用として…**



処理経費 約 1,028円

経費負担 約 371円（必要とする方からの手数料）  
約 657円（皆さまからの税金）

**【参考情報】**

証明書発行数 年/75,730件

処理経費 年/7,782万円（歳出）

※ 人件費、事務処理経費など

経費負担 年/2,807万円（歳入）

※ 証明書手数料（1件/300～750円）

**図書館で本を1冊**

**貸し出すための費用として…**



所要経費 約 300円

経費負担 約 300円（皆さまからの税金）

**【参考情報】**

貸出冊数 年/145,809点

処理経費 年/4,368万円（歳出）

図書館施設管理・資料購入費用など

**コミュニティセンターの会議室・集会室などを  
1室利用するのにかかる費用として…**



所要経費 約 4,256円

経費負担 約 282円（利用する方からの使用料）  
約 3,974円（皆さまからの税金）

**【参考情報】**

利用件数 年/7,544件（※1日平均/約23件）

所要経費 年/3,211万円（歳出）

※ コミュニティセンター全ての維持管理運営費  
（人件費、駐車場・事務室等の施設維持経費）

経費負担 年/213万円（歳入）

※ 施設使用料（1時間/100～600円）

### 学校給食にかかる1食当りの費用として…



所要経費 約 457円

経費負担 約 254円 (保護者の方からの給食費)

約 203円 (皆さまからの税金)

#### 【参考情報】

給食数 年/805,596食

(幼稚園・小学校・中学校 給食提供187日)

所要経費 年/3億6,813万円(歳出)

※ 人件費、材料費、給食センター施設維持経費など

経費負担 年/2億 475万円(歳入) ※ 給食費

### 道路舗装を1㎡補修工事する

#### 費用として…



処理経費 約 9,806円

経費負担 約 6,961円 (将来の市民皆さまの負担 ※市債)

約 2,845円 (皆さまからの税金)

#### 【参考情報】

道路舗装補修工事 年/3,047㎡ (市内10路線)

処理経費 年/2,988万円(歳出)

※ 工事請負費、人件費

経費負担 年/2,121万円(歳入) ※ 市債

### 館山湾花火大会を実施する

#### 費用として…



所要経費 約 2,643万円

経費負担 約 890万円 (皆さまからの税金)

約 1,753万円 (法人協賛金・寄附金など)

#### 【参考情報】

所要経費は、花火大会実行委員会の決算額に、市職員人件費を加えたもの。

※ 市職員以外の実行委員会人件費は、考慮していません。

平成24年度 主な事業と決算額

「活力あるふるさと館山」の実現に向け

ここからは、館山市が平成24年度に行った主な事業を説明します。  
市の全事業を掲載することは出来ないため、主な事業を抽出して掲載しています。  
表の見方は、以下のとおりです。



事業名称と事業実施の担当部署を記載しています。  
平成24年度の新たな取組みは「新規」と表記しています。

[新規] ●●●●事業 (△△△課)		
事業費	XXX万円	
財源	国	XXX万円
	県	XXX万円
	市債	XXX万円
	他	XXX万円
	市	XXX万円
事業内容の説明文書		

事業実施にあたり、なんのお金をもと(財源)にして、事業を行ったのかを表しています。

国 → 国が負担する金額  
 県 → 県が負担する金額  
 市債 → 市の借金によるもの  
 他 → 利用者などの負担によるもの  
 市 → 市が負担(市民の税金などの一般財源)

『健康で安心して暮らすことのできる  
まちづくり』のため



[新規] 防災マップ印刷製本事業 (社会安全課)

事業費	64万円	
財源	国	
	県	64万円
	市債	
	他	
	市	

津波浸水予想地域など、防災マップの見直しを行い、市内全世帯・事業所などへ配布し、災害時の警戒避難体制の整備を図りました。

部数 : 5万部  
規格等 : A2版・B1版・A3版  
(カラー4色)

防災行政無線整備事業 (社会安全課)

事業費	3,890万円	
財源	国	553万円
	県	
	市債	2,750万円
	他	
	市	587万円

デジタル防災行政無線設備について、未整備地区中心に10局の新設を行うとともに、既存の防災行政無線の保守点検及び修繕工事を行い、災害時における情報連絡体制の確保を図りました。

設置基数 125基 (平成24年度末)

[新規] 防災ラジオ配布事業 (社会安全課)

事業費	1,386万円	
財源	国	
	県	1,004万円
	市債	
	他	277万円
	市	105万円

津波危険区域内の災害時要援護者・自主防災会・消防団などへ、屋内外で防災行政無線が受信できる防災ラジオの無償配布を行い、また希望する市民向けに有償配布を行いました。

購入台数 2,146台

安全安心情報配信業務委託事業 (社会安全課)

事業費	107万円	
財源	国	
	県	
	市債	
	他	15万円
	市	92万円

安全・安心メールにより、防犯・防災・消防などの緊急情報を市民へ提供し、安全安心なまちづくりの推進を図りました。

登録者数 12,583人  
(平成25年3月時点)

自主防災促進事業 (社会安全課)

事業費 245万円

財源	国	
	県	
	市債	
	他	84万円
	市	161万円

自主防災組織が行う、防災器材の購入や非常食の備蓄などに補助を行い、自主防災組織の充実を図りました。

補助対象：川名地区自主防災会 外15件  
補助金額  
(施設整備) 限度額100万円  
(備品購入) 限度額 20万円



庁舎(本館事務棟)耐震改修事業 (管財契約課)

事業費 1億5,452万円

財源	国	
	県	
	市債	1億4,770万円
	他	
	市	682万円

大地震発生時に来庁者や職員の生命の保護を図るとともに、被災後の復旧活動の拠点としての機能を確保するため、本館事務棟耐震改修工事を行いました。  
平成22～24年度  
(3カ年事業)



安房郡市広域市町村圏事務組合 常備消防費負担金 (社会安全課)

事業費 7億8,166万円

財源	国	
	県	
	市債	
	他	
	市	7億8,166万円

常備の広域消防体制の整備充実を図るため、安房郡市広域市町村圏事務組合が行う消防や救急事業についての負担金を支出しました。



消防施設・機材整備事業 (社会安全課)

事業費 5,843万円

財源	国	709万円
	県	431万円
	市債	3,320万円
	他	
	市	1,383万円

老朽化した消防団ポンプ自動車の更新や消防団詰所の新築、防火水槽の整備などを行い、消防力の充実に努めました。

- ・ 消防自動車購入 1台
- ・ 消防団詰所新築 1カ所
- ・ 防火水槽新設 1カ所
- ・ 消火栓新設 2カ所





福祉・医療  
子育て編

障害者自立支援事業 (社会福祉課)

事業費 6億6,542万円

財源	国	3億5,317万円
	県	1億6,480万円
	市債	
	他	
	市	1億4,745万円

障害者などへ、適切な介護支援や身体機能・生活能力向上に必要な訓練などを行い、地域生活を営むための支援をしました。

※ 障害介護給付費  
対象者 実343人



高齢者福祉団体補助事業 (高齢者福祉課)

事業費 1,123万円

財源	国	
	県	216万円
	市債	
	他	
	市	907万円

老人クラブや館山市シルバー人材センターを支援するため、活動費や運営費を補助し、高齢者福祉の向上を図りました。



生活保護事業 (社会福祉課)

事業費 11億1,969万円

財源	国	8億1,364万円
	県	4,507万円
	市債	
	他	
	市	2億6,098万円

生活困窮者に対して生活保護法を適用し、最低限度の生活を保障する保護費の給付を行うとともに、生活指導による、自立助長を図りました。

[生活保護適用]  
527世帯 639人



安房郡市広域市町村圏事務組合 保健衛生費負担金 (健康課)

事業費 4,955万円

財源	国	
	県	
	市債	
	他	
	市	4,955万円

地域住民の生命と健康を守るため、安房郡市広域市町村圏事務組合へ救急医療に関する保健衛生費を負担し、救急医療体制の確保・充実を図りました。

[主な内容]  
病院群輪番制病院運営事業  
土曜午後・日曜日昼間・毎夜間の病院運営事業を実施



安房地域医療センター救急医療事業運営費補助金 (健康課)

事業費 4,303万円

財源	国	
	県	
	市債	
	他	
	市	4,303万円

救急医療体制の充実を図るため、二次救急医療の基幹病院である安房地域医療センターが行う、救急医療の運営費へ補助を行いました。



[新規] 亀田医療大学建設等事業費補助金 (健康課)

事業費 4,912万円

財源	国	
	県	
	市債	
	他	
	市	4,912万円

学校法人鉄蕉館による亀田医療大学建設事業について補助を行い、全国的に不足する看護師の養成及び安房地域での看護師確保を図ります。



健康診断・予防接種事業 (健康課)

事業費 1億4,775万円

財源	国	177万円
	県	1,784万円
	市債	
	他	729万円
	市	1億2,085万円

乳幼児・学童・高齢者の疾病予防のため、各種予防接種やがん検診などを実施しました。

[主な内容]

- ・ 高齢者インフルエンザ
- ・ 三種混合 ・ 日本脳炎
- ・ 子宮頸がん
- ・ 各種がん検診 など



病児・病後児保育事業 (こども課)

事業費 805万円

財源	国	
	県	537万円
	市債	
	他	101万円
	市	167万円

児童が病気の治療中又は病気の回復期にあり、集団保育及び保護者による保育が困難な場合に、一時的に預かり、保護者の子育てと就労等の両立を支援しました。

[受入施設]

亀田病児・病後児保育室 たてやま



元気な広場運営事業

(こども課)

事業費 1,501万円

財源	国	467万円
	県	
	市債	
	他	
	市	1,034万円

子育て中の親子の交流、子育て講座、育児相談、情報提供やシニア世代との交流を行い、子育てへの不安解消、児童虐待防止の推進を図りました。

[ 元気な広場利用者数 ]

平成24年度

延34,810人



子ども医療費支給事業

(こども課)

事業費 8,808万円

財源	国	
	県	4,303万円
	市債	
	他	
	市	4,505万円

中学校3年生までの保険診療に係る費用へ助成を行い、保護者の経済的負担軽減を図るとともに、子どもの保健向上に努めました。 給付件数 延54,580件

[ 保護者負担額 ]

入院1日300円(中学3年生まで)

通院1回300円(小学3年生まで)

調剤は無料(小学3年生まで)



児童手当給付事業

(こども課)

事業費 6億4,572万円

財源	国	4億3,874万円
	県	1億 313万円
	市債	
	他	
	市	1億 385万円

中学校修了前までの児童を養育する保護者を対象に手当を支給し、児童の健全な育成や子育てに係る経済的負担を軽減しました。

[ 児童手当額 ]

月額 5千円～15千円



幼保一元化施設整備事業

(こども課)

事業費 1億1,870万円

財源	国	463万円
	県	
	市債	7,630万円
	他	
	市	3,777万円

子育て・教育環境の充実を図るため、幼稚園・保育園を一元化した「こども園」の整備を行い、平成25年4月に2園のこども園(船形・九重地区)を開園しました。





東日本大震災避難者支援事業 (社会福祉課)

事業費	485万円	
財源	国	
	県	338万円
	市債	
	他	
	市	147万円

東日本大震災による市内避難者に対し、各種サービス（民間賃貸住宅借上げによる応急仮設住宅の提供、生活支援情報の提供、相談業務等）を提供し、避難者の生活の安定を図りました。

- ・市内避難世帯数：22世帯



環境・衛生編

水質検査等委託事業 (環境課)

事業費	93万円
財源	国
	県
	市債
	他
	市

市民の健康を守るとともに快適な生活環境を保全するため、環境汚染物質の調査・測定を実施し監視に努めました。

[主な内容]

- ・地下水水質検査（市内11カ所）
- ・河川水質検査（市内3河川）  
など



住宅太陽光発電システム設置費補助金 (環境課)

事業費	289万円	
財源	国	
	県	224万円
	市債	
	他	
	市	65万円

地球温暖化対策を促進するため、住宅用太陽光発電システムを設置する者に対し補助金を交付しました。

補助対象：設置者（個人）

補助金額：1kw当たり2万円  
上限8万円

補助件数：39件



ごみ再資源化事業 (環境課)

事業費	1億6,293万円
財源	国
	県
	市債
	他
	市

ごみの分別による再資源化を促進し、燃やせるごみの減量化を図ります。

[再資源化対象]

- 金属類・ガラス類・白色トレイ
- プラスチック製容器包装
- ペットボトル・古紙類など



安房郡市広域市町村圏事務組合 火葬場建設事業費負担金 (環境課)

事業費	6,796万円			
財源	国			
	県			
	市債			
	他			
	市			6,796万円

安房郡市広域市町村圏事務組合が建設する新火葬場の建設事業費の負担金を支出し、事業の推進を図りました。

[ 新火葬場概要 ]  
 南房総市山名地区  
 延床 2,856㎡  
 平成24年10月  
 供用開始



安房郡市広域市町村圏事務組合 ごみ処理広域化推進費負担金 (環境課)

事業費	1,211万円			
財源	国			
	県			
	市債			
	他			
	市			1,211万円

安房郡市広域市町村圏事務組合が実施している、ごみ処理広域化事業の負担金を支出し、事業の推進を図りました。

[ ごみ処理広域化事業 ]  
 ごみ焼却施設の老朽化により、中間処理(ごみ焼却等)施設及び最終処分場の整備を行うもの。



道路新設改良事業 (建設課)

事業費	1億9,013万円			
財源	国	3,156万円		
	県			
	市債	1億3,050万円		
	他			
	市	2,807万円		

生活環境及び道路機能の向上を図るため、市道の改良などに伴う測量・調査・設計や改良・排水・舗装の整備を行いました。

[ 主な内容 ]  
 道路改良工事 4路線  
 道路排水整備工事 19路線  
 道路舗装補修工事 10路線



橋梁整備事業 (建設課)

事業費	7,078万円			
財源	国	3,559万円		
	県			
	市債	2,790万円		
	他			
	市	729万円		

安全・円滑な交通機能確保のため、橋梁の補修工事や今後の修繕計画の策定などを行いました。

[ 主な内容 ]  
 ・ 汐入橋橋梁補修工事



船形館山港線道路整備事業 (都市計画課)

事業費 1,645万円

財源	国	
	県	
	市債	
	他	
	市	1,645万円

道路ネットワークの整備や観光振興を図ることを目的とした、(仮称)船形バイパス整備にかかる測量業務などを行いました。

※ 船形バイパス  
富浦IC付近～鏡ヶ浦通りへのアクセスルート



交通安全施設整備事業 (社会安全課・建設課)

事業費 1,706万円

財源	国	
	県	
	市債	
	他	132万円
	市	1,574万円

市道での交通危険箇所における安全施設等を整備し、交通事故の防止を図ります。

- [主な整備内容]
- ・ 通学路道路改良工事 (豊房地区)
  - ・ 道路反射鏡 ・ 防護柵など



教育編

学校施設 (幼稚園・小学校・中学校) 修繕改修事業 (教育総務課)

事業費 5,307万円

財源	国	
	県	
	市債	
	他	
	市	5,307万円

幼稚園・小・中学校施設の修繕・改修・整備を行い、幼児・児童・生徒の学習環境の改善を図りました。

- ・ 幼稚園 1,014万円 (館野幼 倉庫改築 外)
- ・ 小学校 2,622万円 (神余小 校庭整備 外)
- ・ 中学校 1,671万円 (三中 廊下改修 外)



学校施設耐震改修事業 (教育総務課)

事業費 5億6,197万円

財源	国	1億7,487万円
	県	
	市債	3億5,130万円
	他	
	市	3,580万円

児童の安全対策のため、学校施設の耐震改修工事を実施しました。

北条小学校  
(中央棟・南棟)



国際理解教育推進事業 (学校教育課)

事業費 678万円

財源	国	
	県	
	市債	
	他	35万円
	市	643万円

小中学校へ外国語指導講師を配置し、国際理解教育の推進を図りました。

- ・ 小学校 1名派遣
- ・ 中学校 2名派遣



[新規] 歴史副読本『さとみ物語』作成事業 (生涯学習課)

事業費 536万円

財源	国	
	県	536万円
	市債	
	他	
	市	

戦国大名里見氏の歴史の正確な理解を図るため、小中学生を対象とした歴史副読本『さとみ物語』を作成し、各教育施設へ配布しました。

作成部数：5千部  
配布先：市内小中学校 外



館山若潮マラソン大会事業 (スポーツ課)

事業費 3,539万円

財源	国	
	県	
	市債	
	他	3,539万円
	市	

「第33回館山若潮マラソン大会」を開催し、市民の健康体づくりやスポーツ観光による地域経済の活性化を図りました。

開催日：平成25年1月27日  
申込数：10,923人



『 経済活性化によるまちづくり 』 のため



地域おこし協力隊事業 (農水産課)

事業費	1,528万円
-----	---------

財源	国	
	県	
	市債	
	他	
	市	1,528万円

地域農業活性化のため、都市部など地域外の人材を活用し、農作業や地域活動に従事することにより、農村集落の地域力の維持・強化を図りました。

平成24年度委嘱 4名

[新規] 地域農業活性化共同調査研究事業負担金 (農水産課)

事業費	377万円
-----	-------

財源	国	
	県	
	市債	
	他	
	市	377万円

公設地方卸売市場用地(跡地:稲地区)を核とした農村交流拠点整備についての方策検討のため、(財)地方自治研究機構と共同調査研究事業を行いました。

[新規] 地産地消推進事業 (農水産課)

事業費	746万円
-----	-------

財源	国	
	県	746万円
	市債	
	他	
	市	

地元産の農水産物の消費拡大のため、生産者(農家・漁協)・地元産品を販売する需要者(飲食店等)・消費者の三者間のネットワークの充実強化を図りました。

「ダッペエ」シールでの産地明示化モデル事業

有害鳥獣対策事業 (農水産課)

事業費	953万円
-----	-------

財源	国	
	県	616万円
	市債	
	他	
	市	337万円


鳥獣による農作物の被害を抑えるため、鳥獣の捕獲事業及び防護柵の設置について支援を行い、有害鳥獣への対応を強化しました。

[主な内容]

- ・イノシシ捕獲 72頭
- ・わな免許取得 9名
- ・防護柵設置に係る補助 など


<b>漁業生産基盤等整備事業補助金</b>		(農水産課)
<b>事業費</b>	1億1,276万円	
<b>財源</b>	国	
	県	9,665万円
	市債	
	他	
	市	1,611万円

漁業作業の効率化や流通機能改善を図るため、西岬漁協による下原漁港荷捌施設建設事業に対する補助を行いました。



<b>稚貝放流事業補助金</b>		(農水産課)
<b>事業費</b>	295万円	
<b>財源</b>	国	
	県	75万円
	市債	
	他	
	市	220万円

市内5漁業協同組合が実施する磯根資源（さざえ・あわび）の保護・繁殖のための稚貝放流事業に対し補助を行い、沿岸漁業の振興を図りました。




補助率：事業費の1/2



<b>[新規] 定住・移住促進事業</b>		(商工観光課)
<b>事業費</b>	417万円	
<b>財源</b>	国	
	県	
	市債	
	他	
	市	417万円

都市部などからの移住希望者に対し、相談業務などの移住支援を行い、定住移住者の増加に努めました。

- ・ 移住者実績47人 (24世帯)
- ・ 相談件数125件




<b>中小企業融資事業</b>		(商工観光課)
<b>事業費</b>	6,410万円	
<b>財源</b>	国	
	県	
	市債	
	他	5,300万円
	市	1,110万円

館山市中小企業融資などの借入れを行った中小企業者に対して、保証料及び利子の一部を補給し、中小企業の振興を図りました。

[平成24年度 主な実績]

- ・ 中小企業融資利子補給金 134件
- ・ 中小企業融資保証料補給金 118件



観光振興事業 (商工観光課)

事業費 2,572万円

財源	国	
	県	200万円
	市債	
	他	
	市	2,372万円

観光客誘致のためのプロモーション活動や受入体制の強化、着地型旅行などの推進のため民間団体などが行う観光振興に資する事業へ支援を行いました。



[主な内容]

- ・ 館山市観光協会への補助 1,511万円
- ・ 民間団体への補助 3団体 175万円 外

マスコットキャラクタープロモーション事業 (商工観光課)

事業費 354万円

財源	国	
	県	
	市債	
	他	7万円
	市	347万円

館山市のマスコットキャラクターを観光イベント等で活用することにより、館山市の観光PRと市の知名度向上を図りました。



- ・ デザイン作成、グッズ作成費用など

観光施設整備事業 (商工観光課)

事業費 3,613万円

財源	国	1,948万円
	県	
	市債	900万円
	他	
	市	765万円

来訪者が快適に観光地めぐりができるよう、公衆トイレの整備や観光案内表示の整備を行いました。

[主な内容]

- ・ 洲崎公衆WC建設  
2,353万円
- ・ 観光案内板設置事業  
1,260万円



「渚の駅」たてやま」施設管理事業 (みなとまちづくり課)

事業費 3,054万円

財源	国	
	県	32万円
	市債	
	他	
	市	3,022万円

「渚の駅」たてやま」施設の適正な管理運営を行い、来訪者へのサービス向上及び海辺のまちづくりの推進に努めました。

利用者数  
: 127,531人



[新規] 赤山地下壕跡・博物館共通観覧券発行事業 (生涯学習課)

事業費	33万円			
財源	国			
	県			
	市債			
	他			
	市	33万円		

館山海軍航空隊赤山地下壕跡、館山市立博物館（本館・館山城）の共通観覧券を発行し、あわせて「渚の駅”たてやま”へ周遊する仕組みづくりにより、文化財を活用したまちづくりと観光振興を推進しました。

製作枚数：3千枚



雇 用 ・  
経 済 対 策 編

雇用創出事業 (商工観光課 他15課・局 23事業)

事業費	9,456万円			
財源	国			
	県	9,418万円		
	市債			
	他			
	市	38万円		

県の雇用対策補助金を活用し、離職を余儀なくされた失業者に対して、次の雇用までの短期の雇用を行い、就業機会の創出を図りました。



雇用実績人数 64名

[新規] 起業支援補助金 (商工観光課)

事業費	123万円			
財源	国			
	県			
	市債			
	他			
	市	123万円		

市内において起業する個人や法人に対し、事業を起すために要する経費の一部に補助を行い、市内産業の振興を図りました。

- [平成24年度 実績]
- ・ 開設経費補助 2件 (上限50万円)
  - ・ 事務所賃借経費補助 3件 (上限5万円/月)



[新規] 住宅リフォーム補助事業 (都市計画課)

事業費	1,961万円			
財源	国	450万円		
	県			
	市債			
	他			
	市	1,511万円		

市民の住環境の充実、耐震化の推進及び経済活性化対策としてリフォーム補助事業を行いました。

補助額：対象工事費の10%  
限度額：20万円  
補助件数：164件





『 財政の健全化と安定 』 のため



納 税 ・  
行 財 政 改 革

[新規] コンビニエンスストア収納事業 (納税課)

事業費	232万円			
財源	国			
	県			
	市債			
	他			
	市			232万円

徴収率の向上と納税者の利便性向上を図るため、市県民税・固定資産税・都市計画税・軽自動車税・国民健康保険税・介護保険料のコンビニエンスストア収納を導入しました。

(平成24年度実績 ※一般会計)  
25,736件  
3億3,826万円

[新規] し尿処理手数料の見直し (環境課)

事業費	-万円			
財源	国			
	県			
	市債			
	他			
	市			

近隣市町との料金の均衡を図り、将来の環境衛生施設の建設及び改修等にかかる資金を確保するため、手数料の見直しを行いました。

歳入増額 約4,500万円

人件費の削減 (総務課)

事業費	-万円			
財源	国			
	県			
	市債			
	他			
	市			

給料及び各種手当の減額等により約1億3,500万円の人件費削減を図りました。

- ・一般職  
給料月額 職務の級により3～5%削減
- ・特別職等  
給料月額 市長15% 副市長・教育長10%削減

財政調整基金積立金 (行革財政課)

事業費	4億2,168万円			
財源	国			
	県			
	市債			
	他			56万円
	市			4億2,112万円

健全な財政運営の確保のため、前年度決算剰余金や地方交付税の増収分などを、市の貯金となる財政調整基金へ積立てを行いました。

[ 財政調整基金残高 ]  
平成23年度末 10億2,321万円  
平成24年度末 14億4,489万円

最後まで、読んでいただき  
ありがとうございました。

市の決算状況や皆さまからの税金の使われ方、平成24年度において市が実施した主な事業内容などが、わかっていただけましたでしょうか？

市の財政状況を把握するためには、様々な財政指標が数値化される『決算』の内容を知ることが一番だと思います。

市民の皆さまが、市の財政状況に関心を持っていただき率直な意見を市に寄せて頂くことが、行政サービスをより一層効率的・民主的なものに変え、住民福祉（サービス）の向上につながると考えています。

最後に、今回の『館山市の台所事情』で  
“分かりにくかったこと”“もっと知りたいこと”  
などありましたら、気軽にご意見・ご質問をいただくと、  
次回以降の改善に役立ちます。

みなさまからのご意見をお待ちしております。







館山市マスコットキャラクター

©2010 studio crocodile・館山市

本名	ダッペエ
分類	イヌ（雑種）
由来	房総の方言「～だっぺ！」が名前の由来。
口癖	「ワンワン」ではなく「ベエベエ」と吼える。 喋る時は語尾に必ず「っぺ！」がつく。
家系	里見八犬伝の犬「八房（やつふさ）」の親戚の末裔（まつえい）の知り合いの親戚。
性格	おおらかで適当。房州育ちであばら骨が1本足りない。

オフィシャルホームページ⇒<http://dappee.com/>

#### 館山市の台所事情

（平成24年度決算版）

平成25年9月作成

館山市総務部行革財政課

T E L 0470-22-3291

F A X 0470-23-3115

E-Mail [gyouzai@city.tateyama.chiba.jp](mailto:gyouzai@city.tateyama.chiba.jp)